

解答

- ① 問1 (1) 茨城県 (2) 新潟県
問2 (1) 琵琶湖 (2) 滋賀県
問3 黒潮
問4 (1) ア (2) ア
問5 ウ
- ② 問1 ③
問2 卑弥呼
問3 ウ
問4 源頼朝
問5 イ、ウ、エ
問6 ア
問7 イ
問8 エ
- ③ 問1 ① 消防署 ② 条例 ③ 選挙 ④ 衆議院議員
問2 消費
問3 エ、ケ
問4 ア、ク
問5 20

④ ① 織田信長は室町幕府を滅ぼし、数々の戦国大名を倒し武力による天下統一を推し進めた。また、楽市楽座を行い、商人や職人が自由に商売できるようにし、公家や寺社の特権を奪った。これにより自分の城下町を繁栄させることによって国力を増強させた。仏教勢力を抑えるため、延暦寺の焼き討ち、一向一揆の弾圧も行った。信長の跡を継ぎ天下統一を達成した豊臣秀吉は、太閤検地を行い、田畑の面積、土地のよしあし、取れ高、耕作者名を調べ検地帳に記録した。これにより農民が土地を耕作する権利がはっきり認められた反面、土地から離れられなくなり年貢を納めることが義務づけられた。また大仏の建立を名目に刀狩を行い、農民から武器を奪うことで同時に、農民の一揆の防止と、武士と農民の身分の区別を明確にした。関ヶ原の戦いに勝って、朝廷から征夷大將軍に任じられた徳川家康は江戸に幕府を開き、諸大名達と主従関係を結び、それぞれの大名達に領地を与え藩として支配させた。子どもの秀忠に將軍職をゆずることで、將軍は徳川氏が世襲していくことをしめし、徳川家による支配体制を強化させた。また、豊臣氏を滅ぼすことによって、再び戦乱の時代になることを回避した。② 3人の中で最も歴史的に評価できるのは、徳川家康であると考えられる。その理由としては、信長・秀吉のように個人の力で支配していくのではなく、強いたい將軍という武士の頭領の象徴となり幕府を開いたことにある。征夷大將軍は徳川氏が世襲していく仕組みを作り上げ、大名の統制に力を注ぎ、豊臣氏を滅ぼすことにより、戦乱の起こることのない平和な武士による安定した時代を作り上げたと考えられる。太閤検地・刀狩により、武士による全国の土地や領民を支配する仕組みを確立させ、安泰した社会の仕組みを作った秀吉がこれに次ぐと考えられる。天下統一への道を推し進めていった信長の功績も非常に大きいですが、不安定な戦国の時代を終わらせることができなかつたことを見ると、家康・秀吉に比べると低評価となってしまう。